



題字 井口 文章
再刊 第529号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2026

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面… 錦城祭直前！ 準備が進む
後夜祭の花火、スマホ使用許可に
二面… 錦城祭企画一覽
夏のオーストラリア研修レポート

青春の波紋を響かせよう

錦城祭明日開幕！

9月12日(土)と13日(日)にいよいよ錦城祭が開幕する。各団体企画の見どころや裏で錦城祭を支える実行委員に話を聞いた。

海の家でもてなし

3Cのクラス企画は、アイス、ラムネなどの販売を行う飲食企画「海の家」だ。アイスの味はバナナ、抹茶、苺、チョコの4種類。内装に力を入れているそうで、紙で作ったハイビスカスを教室中にちりばめる。まるで気分は南国のビーチのような夏らしくさわやかな雰囲気だ。特にテーブルにおく番号札のデザインが海を連想するイラストが実に素敵だ。切羽詰まった状況だが、準備期間を通してクラスの仲が深まっているのが嬉しく、いと3Cの生徒は話してくれました。また、生徒はアロハシャツを着て接客を行う予定だといふ「マジでデモンション高くもてなすのでヨロピク☆」と呼びかけた。



画用紙でハイビスカスの花を作る様子

神話を基にしたずぶぬれ企画

2Gのクラス企画は、ネイティブアメリカンの神話にあるコヨーテを元にした、火の玉を守り抜くコンセプトの「トラクション」だ。お客さんは火の玉を授かり台車に乗り込む。教室内にある射的的あてのブースを通り抜け、教室内のどこかにいる火の妖精に火の玉を届ける。射的や的あてで点数が獲得できるそうだ。この企画の注目ポイントには教室に入った瞬間にずぶぬれになるというところだ。というのも容赦なくお客さんに水鉄砲をかける。お客さんはその嵐の中、なんと火の玉を死守する必要があるそうだ。「もちろんレインコートや内装も力を入れているので楽しみにしてほしいです」と意気込んだ。

判決は有罪？ 無罪？

2Iが行う企画は「2年I組最高裁判所」。企画準備を行う生徒によると、昔話やアニメを現代の法律に当てはめ、裁判を行うクラス劇だそう。桃太郎、アンパンマンを被告人にした台本で、来場者は裁判員として参加し、最後に裁判員が掲げるうわの数の判決が決定する。台本、実現したのだとか。和田さんは「来年、再来年にも継続したいと思っています」と話し、HP運営に力を入れていきたいと語った。アドレスは次の通りだ。

新しい試みの錦城祭HP

錦城祭実行委員会委員長和田瑞樹さん(2B)によると、今年は準備期間が短く切羽詰った状況だという。「ぼちぼち各クラス、団体の準備も進んでいます。準備期間も含め、全力で楽しんでほしいです」と和田さんは話す。今年からは新しい試みとして錦城祭のHPを作成したという。昨年、パンフレットが足りなくなった反省を活かし、

後夜祭は16時20分スタート

ついに始まる本番へ

後夜祭・錦城祭実行委員長が意気込みを語る



最高の後夜祭に！

後夜祭実行委員会は、夏休みも準備を続けてきた。後夜祭実行委員長の篠原梨子さん(2M)、副委員長の脇道香さん(2C)によると、今年も最高の後夜祭になりそうなのだという。外部との連絡に苦戦しながらも、準備は順調だと話す。二人は「暗いので足



内装の色塗り中



裁判で使う小道具の準備

大道具や演者まですべてクラスの生徒が制作した。2Iの生徒は「時間が短い中ではありますが、楽しんでもらえるように準備を進めています。ぜひ来て、有罪か無罪か考えてみてください！」と呼びかけた。

(二面つづく)

後夜祭 花火撮影でスマホ利用許可に

撮影不可の「配慮エリア」なども設ける

実行委員で検討を重ねる

錦城祭実行委員会委員長の和田瑞樹さん(2B)によると、今年の後夜祭ファイナレの花火の間のみスマホでの撮影が可能になった。花火撮影での使用に限り、その他は普段のスマホルール通りだ。今回の取組は、錦城祭・後夜祭ファイナレの感動を将来何度でも語り合える一生モノの思い出を残すため、自分達の公約で掲げた錦城祭当日、準備日でのスマホ利用可能実現もあり、今回取り組みを始めたという。「今回のスマホ利用ルール緩和に近づいたものではなく、あくまでも特別に許されたものです」と話す。

最大限の配慮をお願いします

「生徒が作ったルールを生徒が守ることができる、という学校からの「信頼の証」です。一瞬の気のゆるみやマナー違反で、これまでの生徒会活動



ルールを守ってほしい

写真部、映画研究部、全国大会で存在感を残す

写真部 全国大会出場で他校と交流深める

7月26日から30日に、秋田県秋田市の県立美術館にぎわい交流館 AU アトリオンで開催された第50回全国高等学校総合文化祭写真部門に写真部が出場した。参加した部員の山崎実優さん(2K)は、「自分が全国大会に出場できるとは思ってなかったの、とても驚きました」と話す。総文祭では、現地の高校生が企画したクイズ大会で全国の生徒同士で交流を深めたり、7~8人の班でフォトブックを作成したりしたそう。

山崎さんは、全国の高校生の作品に触れたことで良い刺激を受けたそうで、全国の様々な地域の高校生とも交流することができ、とても貴重な体験ができた振り返る。また山崎さんは、「今回の経験を活かし、印象に残るようなより良い作品を撮れるよう頑張りたいです」とこれからの写真部での活動へ意気込んだ。



作成したフォトブック

映画研究部 細部までこだわった作品で全国3位受賞



笑顔を見せる制作陣

7月23日に開催された第73回NHK全国高校放送コンテスト決勝に映画研究部が出場し、『Solaris Stone』が、創作テレビドラマ部門で全国3位となった。制作の中心であった栗原佑季さん(3H)、武藤光星さん(3J)、伊藤旭陽さん(2F)によると、順位が決まった時のことについて、3位で少し悔しい気持ちもありつつ、決勝まで進めた達成感も感じたという。栗原さんは、「報われてよかった」と語る。この作品は、全生徒が特殊能力を使える石を持っている高校が舞台。そこに通う主人公、タイヨウの能力は「ヒーロー」だが…「ヒーローとは何か」と考えさせられる物語だ。

作中に登場するヒーロースーツは制作には約2か月を要し、全て部員の手作りである。また、アクションシーンもアピールポイントの一つだ。栗原さんは、キックのシーンの編集は特に時間がかかり、細部までこだわりたいと振り返る。夜中に3人で電話をして、後日の撮影に向けて展開や構成を長時間話し合っていたそう。『Solaris Stone』は、今度の文化祭でも上映される予定だといふ。栗原さんは映研部員に向け「来年は優勝だ！頑張れ映研！」と活を入れる。伊藤さんは、錦城生に映画研究部の活動をもっと知ってもらうためにこれからも努力をしていきたいと強い意欲を示した。

むらさき草

この夏8月23日の真夜中、東京もずいぶん揺れた。寝ていたが、さすがに気づいて布団から跳ね起きた。置時計や本が、あと少しで頭に落ちてくるころだった。家族も居間に集まり、皆で地震速報を見ていた。そのとき、令和6年元日に発生した能登半島地震の記憶が鮮明に蘇った。能登半島地震が起きたとき、居間で妹とゲームをしていた。テレビで緊迫した津波の映像を見て、「なぜこんな日に辛いことがおきるのだろう」と胸が苦しくなった。震災後の三学期。学校で友達と、実はあの日石川にいて、停電の中で恐ろしい夜を過ごしたと打ち明けてくれた。友達は電気もガスも使えないうえに、いつ地震がくるかわからなくて怖かったと肩を小刻みに揺らしていた。そうか、災害は決して遠い世界の出来事ではないのだ、と痛感した。友人の話聞いた後、授業で石川県輪島市のある工場の取材映像を見た。震災によって、伝統工芸の輪島塗の工房や作業場が大きく壊れていた。出荷準備ができていた作品も、すべてダメになったという。取材に答えていた工房の方は、「何日も経ったのに片付けが終わらず、仕事ができない」と深く嘆いていた。片付けの作業を手伝っていたのは、私と同じ中学生であるその方の娘さんだった。彼女も学校に満足に通えない状況が続く、友達にも会えていないと涙を堪えていた。もし自分が同じ立場だったら、大好きな友達に会えない寂しさに耐えられたらどうか。明日もいつものように朝が来て、友達と笑い合える保証はどこにもない。だからこそ、被災地で頑張る同世代の存在も忘れずに、大切な人と過ごせる時間をかけがえのないものとして過ごしていきたい。

(小)

部活動令宿記伝

ワンダーフォーゲル部 部員同士の協力で

8月5日(水)～6日(木)、山梨県・鳳凰三山でテント泊を行った。初日は6時間ほどかけてテント場に向かった。翌日は4時に出発。ヘッドランプで暗闇を照らしながら地蔵岳を目指す。途中ご来光にも恵まれた。山頂で思い思いに過ごし、今回の最高峰、2841mの観音岳にも登頂。絶景を目に焼き付けてから薬師岳にも到着、鳳凰三山を制覇した。下りでは疲れのあまり無言の時間も訪れたが、無事全員が下山した。参加した部員は「厳しい登りもありましたが、部員同士の協力のおかげで美しい景色に出会えました。特に朝日に染まる南アルプスは圧巻でした!」と合宿を振り返った。(翠)



H Pの山行記もぜひ!

文藝部 より部活が楽しみに

7月27日(月)から7月29日(水)の間、山梨県河口湖近くにある民宿「麗峰」で合宿をした。部活内の仲を深めるためにリレー小説や、各自の作った小説の読み合いを行った。また、河口湖周辺の散策や富士山世界遺産センターに訪れて、充実した二泊三日となった。部長の市川乃愛さん(2A)は「文芸活動や河口湖周辺の散策において部員同士が話す機会が多くあり、仲がより深まったと思います。」と振り返る。町田遥菜さん(1A)は「合宿前は、先輩とか同級生と距離がありました。合宿を通して、お互いの意見を気軽に言えるようになり、部活に行くのがより楽しくなりました」と話した。(小)

生物部 新しい仲間たちが!

7月29日(水)～8月2日(日)にかけて静岡県下田で合宿を行った。温暖化の影響もあり、以前までとは違う様々な魚やカニなど合わせて10種類以上を採集した。参加した栗原昂汰さん(2L)は「思っていたよりも普段見ることのできない生物が多く見ることができて感動した。ただ、目の前にいたのに採集できなかった生物もいたのでいつかリベンジしてみたいです」と楽しそうに語った。生物部では錦城祭で展示を予定している。栗原さんの一推しは合宿中に採集したガザミで、餌を嬉しそうに食べる様子がとても愛らしいとのこと。合宿で採集した生物の他にも多くの生物を展示するようなので、是非足を運んでみよう。(兜)

1A	迷い込んだら最後!アリスのティーパーティーカップ	クッキング同好会	錦だこ
1B	フジテレB〜VSアザラシ〜	ピアノ有志	ピアノ有志
1C	冥土喫茶〜イタリアン留学生からの願い〜	将棋部	将棋ひろば
1D	おかえりな祭	吹奏楽部	KBBドルルスデージョー
1E	校内大捜索!キャラクタースタンプラリー	吹奏楽部	演奏会「響波〜重なるに響き、一つの波へ〜」
1F	全力!脱力クイズ	新聞委員会	錦城新聞採録記〜現代社会の波を乗りこえ!〜
1G	VS1G	空手道部	演武会
1H	廃病院からの脱出	書道同好会	墨で感じる錦城文化
1I	カジノ	室内楽	ザリガコンサート
1J	迷宮の解読器〜仕掛けられた異に酔いしれろ〜	室内楽部	Con Moto-僕らの音が出会うとき-
1K	ERROR 1K	図書委員会	古本市
1L	春はあけぼの、夏は緑日	ダンス部	INSIDE OUT
1M	パイレーツハンター〜消えた宝を探せ〜	ハンドボール部	狙え!!あのコの♡
2A	LOUND-A	卓球部	卓球チャレンジ&勝敗予想ゲーム
2B	歪んだ童話	ギター同好会	ギター同好会コンサート
2C	SUDAクレープ〜食べまSHOYO〜	美術部	美術部展示「さざなみ」
2D	Deee quite!!	映画研究部	錦城ロードショー
2E	SUPER MARIO SUGOROKU	文芸部	錦文代
2F	Pirates of Caribbean〜波動の航海〜	体操部	タンブリング
2G	鎮火	放送部	〜Alice in Kinjo high school〜紙芝居feat.放送部
2H	ICE LAGOON	弓道部	どんびしやり
2I	組最高裁判所	写真部	Shutter chance!!
2J	しあわせ堂〜呪われた駄菓子屋〜	生物部	生物研究室〜in錦城船
2K	恐鳴からの脱出	鉄道研究部	旅する文化祭▶行き先はお手製
2L	狂迷	軽音楽部	錦城祭ライブ
2M	Mスターズ・ライト	競技かるた同好会	錦城・デ・かるた
3A	THE FINAL!?やまなからあげ	64回生探求	雑誌を作って売る
3B	TEAcher Tana Café	1年書道科	漢字で私
3C	海の家	1年美術科	1年美術展
3D	こっくんはるみ	PTA	休憩室・談話室
3E	VSSE キッキングスナイパー!	同窓会	Home Coming Day
3F	ギョギョ! ?あなたのエサやり、承ります!!	入試広報	入試相談会
3G	Ghost G House〜39人の亡霊たち〜	献血	献血
3H	クイズ! 錦城生より賢いの?	探究活動部	探究! ?
3I	Picnic Cafe	錦城祭実行委員会	錦城祭本部企画
3J	金とれカジノ 筋トレ田代	パン工房エミュー	錦城生の憩いの場
3K	K-1ランプリ	ミライキッチンカー	移動販売
3L	CLUB HOUSE〜PHOTOBOOTH〜	Yellow Kitchen 太	移動販売
3M	カラオケMagic		

「恐鳴からの脱出」
2Kの企画「恐鳴からの脱出」は脱出ゲームとお化け屋敷を兼ねそなえたアトラクションだ。壊れた研究所からの脱出をコンセプトとし、汚れた白衣を着たお化けから逃げながら謎をとき、楽しめるものとなっているそう。魅了は、クイズで頭も使いながらお化け屋敷の怖さ、驚きを感じ、両立できるところだと話す。



研究室の壁 色塗り中

装飾に、規制線を使用したりする予定だという。特に壁の作成に苦戦しており、試行錯誤しながら準備を進めているそう。2Kの生徒は、「準備を進めて行く中で初めて話すクラスメイトとかもいて気まずかったです。でもこの機会をきっかけに仲良くなれたらいいです」と笑顔で話してくれた。



1つ100円なのでぜひ食べて!

かき氷を販売。値段はすべて100円、味はイチゴ、レモン、ブルーハワイの3種類だ。今回の錦城祭のテーマである「共鳴波動」にちなみ、もたらせ、錦城波」にちなみ、それぞれ「紅波」、「閃光レモン波」、「共鳴ブルー」という名前前で販売するそう。企画について、副会長である石井裕那さん(2L)は「錦城祭に涼しさを届け、笑顔が広がるような販売をしたい」と意気込みを語る。「100円なので誰でも何回でも来てください」と話した。

「漂流したら南極だった件」
中央委員会は「漂流したら南極だった件」という企画で

かき氷を販売。値段はすべて100円、味はイチゴ、レモン、ブルーハワイの3種類だ。今回の錦城祭のテーマである「共鳴波動」にちなみ、もたらせ、錦城波」にちなみ、それぞれ「紅波」、「閃光レモン波」、「共鳴ブルー」という名前前で販売するそう。企画について、副会長である石井裕那さん(2L)は「錦城祭に涼しさを届け、笑顔が広がるような販売をしたい」と意気込みを語る。「100円なので誰でも何回でも来てください」と話した。



笑顔でピース プリスベンを enjoy (Forest Lake State High School の Crystal 先生提供)

新天地で新たな出会い

夏のオーストラリアホームステイレポート

7月26日から8月16日にかけて、錦城生30名がオーストラリアへ留学に行った。参加した編集部の夢が、留学の様子をお届けする。

カンガルとご対面!

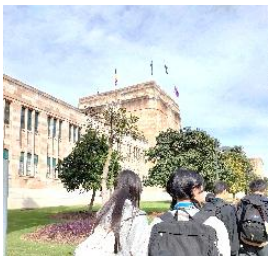


マウント・クーサ展望台からの景色

翌日から学校生活が開幕。お世話になるバディと対面し、オーストラリアのスラングや食べ物、観光地や生環境を英語で学んだり、現地校で日本語を学んでいる生徒たちと日本語で交流したり、ダンスやスポーツなどの日本にない現地校の授業を体験。現地校の生徒たちは私たちが温かく受け入れてくれ、緊張がほぐれ笑顔で友達と話す様子が見受けられた。週末は終日ホストファミリーと過ごし、親交を深めた。

一生モノの思い出

翌週はクイーンズランド大学でグループに分かれキャンパスを見学したのち、サウスバンクエリアにてコアラやカンガルといった動物のぬいぐるみやキーホルダーといったお土産の購入や街の散策をした。



大学を見学

その次の日にはホストファミリーとのお別れパーティが開かれた。パーティではホストファミリーがそれぞれサンドイッチやミートパイ、ドーナツやチョコレートなどを持ってきた。食が終わった後は

アイラブホストファミリー♡

ホームステイ中、放課後や休日にホストファミリーと過ごした。私のホストファミリーはドライブが好きで、よく色々な場所に連れて行ってもらった。プリズベンにあるショッピングモールや博物館、ゴールドコーストのビーチなどなど。その中で、印象的だったことがある。



展望台から望む美しい浜

ある日の夜、「星を見に行かない?」と誘われ夕食後にマウント・クーサへ。その日は雲が出ており、空一面の星を見ることは叶わなかったがプリズベンの夜景を楽しんだ。その日は後日再チャレンジということで終わった。一週間後、「もう一回星を見に行こう」と車を出してくれた。ついた先は広い原っぱだった。町からも比較的離れており、あたりは真っ暗。上を見上げると、数えきれないほどの星と天の川があった。1時間ほどホストファミリーと星を眺めた。今も鮮明に覚えている大切な時間である。あの星空を見たのはホストファミリーのおかげである。改めて感謝したい。(夢)

大会報告

▽新聞委員会

7月29日(水)
第30回全国高校新聞年間紙面審査賞 優秀賞

▽吹奏楽部

8月14日(金)
第66回東京都高等学校吹奏楽コンクール B組金賞

▽体操部

8月22日(土)
令和8年度東京都高校連体操競技学年別2年生大会 団体4位 平均台5位 跳馬6位 柏木

▽弓道部

8月23日(日)
国民スポーツ大会関東ブロック大会 出場 高橋俊輝(3I)



パーティで食べたご馳走達💡